

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス メロディ♪		公表日		令和 8年 2月 10 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		空いたスペースを使用しながら突発的な動きにも対応できるように十分な広さを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		その日の利用者に応じて看護師の配置を厚くする等の調整を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		見通しをもって過ごせるように空間の構造化をしています。またホワイトボードの活用等視覚や聴覚等の特性に配慮した環境整備に努めています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃、こまめな消毒、室内の温度や湿度調整等の他、定期的に換気扇やエアコン掃除、床のワックスがけ等実施しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者の様子や体調等に合わせた支援場所を分け個別対応ができるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月部会を開催しており、支援目標等の確認と振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表によりいただいた意見を基に検討する機会を設けています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		管理者、児発管との面談や会議等の中で提案のあった意見等を業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		令和7年4月10日に第三者による外部評価を受け、業務改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月会議の中で研修を実施しています。今年度は外部研修（専門的）も行い専門性について学びました。また、研修内容を職員が振り返る時間を作る事で職員の資質の向上が図れています。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和7年2月に支援プログラムをホームページ上で公表しました。保護者の方へも配布し内容を説明しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		毎年保護者や利用者のニーズ等のアンケート実施、面談等を通してニーズや課題を確認したうえで個別支援計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画原案を元に個別支援会議を開催し支援内容等について共通理解を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書は職員間で回覧し、パソコン上で誰でも確認できるようになっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		重心児に特化した事業所独自のアセスメントシートを使用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画にはガイドラインで示すねらい及び支援内容を踏まえて支援目標・内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で話し合いを行いながら、月案と日案を作成しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		平日と長期休暇で活動内容を変更し、多様なプログラムを実施することで、活動が固定化しないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの体調等状況に合わせて個別活動に切り替えるなどの支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に勤務職員で打ち合わせを行い情報共有や活動内容、準備等の確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		引き継ぎノートや支援記録に状況等を記録し職員間で振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別支援計画内容に沿った支援の記録を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとにモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに示されている「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		視覚的アプローチ（絵カードや写真等）、一人一人に合わせた言葉かけ等を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や担当が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		嘱託医との連携、また必要に応じて関係機関連携を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校行事への参加、送迎時の情報交換等行ない連絡調整を適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		該当利用者がある場合は、就学前に利用していた各事業所や相談支援事業所と情報共有を行なっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行支援会議への参加等を通して情報共有等行なっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		施設支援事業を利用し専門職より研修や支援の方法等について助言をいただき支援に活かしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人内の放課後等デイサービスに通う地域のお子さん達やきょうだい児と一緒に過ごす時間を作りました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		同法人にある相談支援事業所の職員が参加しています。	相談支援事業所と情報共有を行ないます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や面談時に事業所での様子や気になる事等について情報共有を行っており共通理解をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援プログラムは実施できませんでしたが、進路についての研修等を企画し公表を得ました。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		金額や運営規定の変更等があった際は保護者へ丁寧な説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		年に2回面談を実施し保護者のニーズ等を確認し個別支援計画に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書を元に、支援目標や支援内容の説明をし署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族の悩み等に応じて面談を実施し、家族支援を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族の集いを年に2回実施し、保護者同士の交流及び職員との交流を図っています。今年度は夏休みにきょうだい児支援を実施しました。	家族の集いの中で子育て支援に関わる研修等を取り入れます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合は迅速に対応できるように整備を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のメロディ♪便りと活動計画書の配布、Instagramの更新を随時行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		SNSやホームページ上での写真等の確認を必ず行う等、個人情報の取扱いに気をつけています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ひとり一人に合わせた配慮（視覚アプローチ等）を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民を招待する事はありませんが、近隣の散歩や散策等積極的に行っています。	施設全体で地域に開かれた事業運営を考えたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		安全計画他各マニュアルを策定しており職員・家族に周知しています。また毎月活動計画の中で避難訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定しており定期的に避難訓練等の研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		連絡帳や保護者からの聞き取りにより、服薬状況や体調、てんかん発作の有無等を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書に基づく対応を行っており、家族と看護師、栄養士と情報共有を行ない安全に給食を提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定しており、安全計画に沿って研修や訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		面談や家族の集い時に保護者の方へ取り組み内容について説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎月ヒヤリハット集計結果を元に原因と傾向を確認し再発防止策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		施設の虐待防止委員会への参加と虐待についての研修を定期的に行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束委員会を設置し、身体拘束が必要となる場合の基準を組織的に決定しています。現在身体拘束を必要とする児童はいません。		